

HOUSE DESIGN

シュツとした外観

シンプルだけど個性的。それは細部に宿るこだわりがあるから。
無駄のないデザインと、さりげないアクセントが光るデザイン。

シュツとした“雨どい”

ここまでこだわるシュツとした家。メタリックの雨どいは、洗練された外観デザインを邪魔することなく、機能を果たします。

シュツとした“笠木”

建物の腐食を守る笠木。その機能をしっかりと残したまま、限界まで薄くしたアルミ製笠木はきれいなラインをつくり、デザインを引き締める役割も。

シュツとした“外壁①”

無地に見えるような、無駄な模様や柄を排除したフラットなサイディング。シンプルだからこそその存在感が引き立ちます。

シュツとした“外壁②”

外壁コーナーの部材にまでこだわりました。通常は約10cm幅のコーナー用部品が使用されますが、外壁材のフラット系外壁材をより際立たせる1.8cmのシュツとしたコーナー材を使用しています。

シュツとした“サッシ”

道路側から見えるのは小さめのスクエアな窓だけ。スクエアの外観に、スクエアのアクセントがシュツとした印象を高めます。

シュツとした“門柱”

外観デザインを邪魔しない、だけど機能性はしっかりと持った門柱を「向き」までこだわってレイアウト。

シュツとした“玄関”

外部から見えない位置にレイアウトし、外観デザインの妨げにならない配慮を。近づいてみると質感のある上品な仕上げが大切なポイントです。

シュツとした“ポーチ”

玄関へ続く階段部には軽やかな浮遊感を出す為に下部を地面から透かすデザインを施しました。仕上材には有色素地で落ち着きのあるグレーのタイル採用。



シュツとした空間

削る、広げる、選ぶを繰り返し洗練された空間だから、そこに立てば違いがわかる、シュツとした住の空間。

シュツとした“トビラ”

天井高と揃った、垂れ壁がないサイズの「ハイドア」。枠部分はわずか6mmと線のような極薄で、閉めた時は壁面と一体感があり、開け時は極上の開放感。

シュツとした“巾木(はばき)”

なんとなく不必要に目立つ巾木には、実は床と壁の隙間を隠し、ダメージを受けやすい床近くのクロスを守る役割が。わずか25mmに設定した巾木は、壁と一体化したように見え空間をシュツと引き締めます。

シュツとした “スイッチ・コンセント”

水平垂直で構成、隙間も最小なスクエアなスイッチ・コンセント。意外にも大きな違いが出る、細かなこだわり。

シュツとした“キッチン”

高性能メラミン素材をキッチン本体に使用。キズ、摩耗、汚れ、水、衝撃に強く、お手入れしやすい、おしゃれと機能を兼ね備えたハイグレードキッチン。



シュツとした“窓枠”

10mmのスリムな窓枠。従来20mmだった厚みを半分に。さらに壁紙に馴染むホワイト色にし、窓枠の存在感を極限まで抑えました。よって、開口部廻りがシンプルに仕上がり、モダンな雰囲気に演出。

シュツとした“サッシ”

フレームをスリム化し、ガラス面積を30%拡大したスマートなデザイン。2.4mの天井まで伸びるハイサイズの窓には糸が細く、網が視界を妨げない、すっきりとした網戸。非常に高い採光性・眺望性と開放感を生み出します。

シュツとした “玄関の上り框(かまち)”

家玄関と室内床の段差を少なくし、広い玄関収納と床、巾木のラインを揃えたスタイリッシュなデザイン。おうちに入ってきた時から感じる、シュツとしたこだわり。